



# 栃窪小だより



学校ホームページ

## 「人権」について考えます

当校では、12月1日(月)から12月5日(金)を人権強調週間とし、「一人一人が違うことを知り、それぞれの違いを大切にする」という子どもたちの人権尊重の心を育て、思いやりや心のこもった行動がとれることをめざして取り組みます。

その前段として次のような話をする予定です。

「人権」とは、「**すべての人が生まれたときからもっている大切な権利**」のことです。

- ・自分の考えを言うことができる
- ・学校に通って勉強することができる
- ・いじめられず安心して暮らすことができる
- ・自分らしく生きていくことができる

では、どんなときに人権がかかわってくるのでしょうか。

- ・いじめにあってつらい思いをしたとき  
→「安心して生活する権利」が守られていません。
- ・話を聞いてもらえなかったとき  
→「自分の意見を言う自由」が大切にされていません。
- ・女の子だからダメと言われたとき  
→「平等にあつかわれる権利」が守られていません
- ・国が違う子がかかわっているとき  
→「違いを大切にされる権利」が守られていません。



「人権」を守るということは、「**自分も、まわりの人も大切にする**」ということです。

- ・違う考えをもっている人の話ちゃんと聞く
- ・相手が嫌がることは言わない、しない
- ・「〇〇だからダメ」と決めつけず、みんなの気持ちを考える

小学生でも、まわりの人の「人権」を大切にすることができます。困っている子に「どうしたの?」と声をかけたり、友達が話しているとき「うん、聞いてるよ」とうなずいたり、小さな行動でも相手を思いやる気持ちは伝わります。

世界中の国でも「人権」はとても大切にされています。1948年に「世界人権宣言」というルールができて、すべての人が平等で自由に生きるための約束事が決められました。ですから、学校で「人権」を学ぶことは、世界中の人と同じ気持ちで生きていく第一歩でもあるのです。

26日(水)には、子どもたちに人権週間の取組や「権利の熱気球」「ふわふわことばの木」の作成について説明します。また、12月5日(金)学習参観のときは、人権にかかわる内容の授業を行う予定です。是非ご覧ください。

## 「メディアルール」について



先日、塩沢中学校地区学校保健委員会が行われ、中学校区の子どもたちの健康・生活の現状について話し合いが行われました。様々な話題が出されましたが、中でも「メディアのルール」について意見が交わされていました。

「メディア機器の使い方について何か家庭でルールを決めていますか」という問いに対して、全国の小学校4～6年生では 82.2%が「はい」と答えたのに対して、塩沢地区小学校4～6年生の「はい」は 67.1%で、約3割は「いいえ」もしくは「わからない」と回答しました。塩沢地区の中学生に至っては約半数が「いいえ」「わからない」と回答しました。また、「メディアを使用している時はどのような気持ちですか」という問いには、「止めたくても止められない」と回答した小学生・中学生が一定数含まれていました。

“ルールもなく止められない小中学生…”。学習時間、視力、睡眠時間、姿勢など、メディアから受ける日常生活の影響はとても大きいと感じました。

スマートホンなどのメディアは、より便利でより使いやすく進化しながら今後生活の中に一層浸透していくものと思われます。そうであれば、排除するのは現実的ではなく、「上手に付き合う方法」を身につけていくことが大切だと考えます。

先日、新潟日報で「ネット依存の診察室から」という記事の連載が始まりました。依存治療や研究に取り組む久里浜医療センター名誉院長の樋口 進さんがネット依存について書かれるそうです。子どもたちには“自分事”として捉えてほしいと思い、廊下に掲示しました。第2回目からどんな内容になるかわかりませんが、第1・3火曜掲載とのことです。よろしかったらチェックしてみてください。

## 【12月の行事予定】

4	木	サークル活動
5	金	学習参観 個別懇談
8	月	集金日
9	火	立教大学とのオンライン交流
10	水	地域児童会
12	金	5限放課
15	月	国際理解教育「クリスマス会」
16	火	5限放課
17	水	5限放課
18	木	給食最終日
19	金	2学期終業式
22	月	冬期休業(～1/7)

